

田辺市の漁業について（田辺地区漁業担い手地域協議会）

○漁業種類（漁業の就業形態）

まき網漁業（雇用型漁業）
船曳網漁業（雇用型漁業）
一本釣り+その他漁業（刺網、曳縄、採介藻等）（独立型漁業）

○漁業の特徴

田辺市では、まき網、船曳網、一本釣り、刺網、曳縄、採介藻等の漁業が営まれています。その中でまき網漁業は市場への水揚げ量の大半を占めており、本市において中心的な漁業となっています。

まき網漁業は、網船と付属船からなる船団で魚の群れを探し、網で囲い込んで漁獲する漁法で、主にアジ類・サバ類・イワシ類などの魚が漁獲されています。

また船曳網漁業は、網船2隻と魚探船1隻と運搬船1隻で構成されており、網船2隻で袋状の網を曳いてシラスを漁獲する漁法です。

その他にも、当地域には個人経営で季節に応じて、様々な漁法を組み合わせた漁業を営んでいる方もいます。主な漁法としては、一本釣り、刺網、曳縄、採介藻等があり、一本釣りではイサキ、刺網ではイセエビやガザミ、曳縄ではカツオ、採介藻ではヒロメやナマコ等、一年を通して、様々な種類の魚介類を漁獲する漁業を行っています。



●特産物の紀州いさぎと紀州ヒロメ

○年間スケジュールと対象魚種

雇用型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
漁業種類													
まき網	陸上作業	まき網（アジ・サバ等）											
船曳網		船曳網（シラス等）											

※年間操業日数：まき網 約200日（陸上作業も含む）

：船曳網 約170～190日（陸上作業も含む）

独立型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一本釣り 刺網 曳縄 採介藻		← 一本釣り (イサキ等) →											
		← 刺網 (イセエビ等) →					← 刺網 (イセエビ等) →						
		← 曳縄 (カツオ等) →					← 曳縄 (カツオ等) →						
		← 採介藻 (ヒロメ等) →					← 採介藻 →						

※年間操業日数：一本釣り+刺網+曳縄+採介藻 約200日（陸上作業も含む）

○一日のスケジュール

漁業種類		16時	17時	18時	～	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	
まき網	出漁日	出港	操業					帰港	水揚げ				
		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	
	休漁日 <small>(陸上作業)</small>	網修繕作業等											

漁業種類		7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	
船曳網	通常	出港	操業・随時水揚げ					帰港					
	盛漁期	出港	操業・随時水揚げ									帰港	
	休漁日 <small>(陸上作業)</small>	網修繕作業等											

漁業種類		3時	4時	5時	6時	～	10時	11時	12時	13時	14時	15時	
一本釣り (イサキ)			出港	操業						帰港	水揚げ		

漁業種類		4時	5時	6時	7時	8時	～	14時	15時	16時	17時	18時
刺網		出港	揚網		帰港	水揚げ・網修繕			出港	投網		帰港

漁業種類		3時	4時	5時	～	12時	13時	14時	15時	16時	～	
曳縄		出港	操業				帰港	水揚げ				

漁業種類		4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	
採介藻	ヒロメ	出港	操業							帰港	水揚げ		
	ナマコ	出港	操業		帰港	水揚げ							

○平均漁業所得（事例）

〈雇成型〉	
まき網	約200万円/年（漁業収入：約170万円 漁業外収入：約30万円）
船曳網	約150～250万円/年（漁業収入：120～200万円 漁業外収入：約30～50万円）
〈独立型〉	
一本釣り+曳縄+刺網+採介藻	約200万円/年（漁業収入：約150万円 漁業外収入：約50万円）

※但し、漁業所得には個人差があります。（保証はできません）

※漁業外収入として魚の加工や農作業に関するアルバイト等があります。

○募集要件

〈雇成型：まき網〉	
●本地域で漁業への就業に強い意欲のある方等。	
・団体名	：株式会社土佐丸
・仕事内容	：まき網漁業操業全般
・勤務時間	：出漁日16：00～9：00（就業時間は漁況・季節により変動します） ：休漁日8：00～16：00 ※休漁日は陸上作業（網修繕など）
・休日休暇	：年間100日程度、お盆・年末年始・GW休暇有り
・月収・年収	月収：14万円程度 年収：約170万円+漁業外収入
・その他	：閑散期はアルバイト可
〈雇成型：船曳網〉	
●本地域で漁業への就業に強い意欲のある方等。	
・団体名	：芳養地区シラス船曳網漁業(3船団) ※各船団の求人状況に応じていずれかの船団を紹介
・仕事内容	：船曳漁業操業全般
・勤務時間	：出漁日7：00～16：00（就業時間は漁況・季節により変動します） ：休漁日9：00～13：00 ※休漁日は陸上作業（網修繕など）
・休日休暇	：日曜+その他不定休（悪天候時・市場休業時・祭休み等）
・月収・年収	月収：基本給5万円+歩合 ※歩合給は水揚げ状況に応じて変動 年収：120～200万円+漁業外収入
・その他	：閑散期はアルバイト可
【就業までの支援】	
次の研修等で漁業就業に向けてサポートします（国・県の支援制度を活用）	
◇漁業体験(1～5日)	：就業検討する方への数日間の漁業体験
◇トライアル研修（最長1か月間）	：漁業の基礎や漁村暮らしを実体験（実践研修前の短期的な研修）
◇漁業技能承継実践研修・長期研修（最長6か月）	：漁業技能、漁具作成・補修、船舶・機器作業等の実践研修
※トライアル研修後、研修先指導者と研修生の双方が希望すれば漁業技能承継実践研修・長期研修へ移行します	
※研修中の給与形態は実際の給与形態と異なる場合があります。	
〈独立型：一本釣り+刺網+曳縄+採介藻〉	
●本地域で漁業への就業に強い意欲のある方等。	
※独立就業に向けて田辺地区漁業担い手地域協議会が選任する指導漁業者が支援します。	
【就業までの支援】	
次の研修等で漁業就業に向けてサポートします（国・県の支援制度を活用）	
◇漁業体験(1～5日)	：就業検討する方への数日間の漁業体験
◇トライアル研修（最長1か月間）	：漁業の基礎や漁村暮らしを実体験（実践研修前の短期的な研修）
◇漁業技能承継実践研修（最長23か月）	：漁業技能、漁具作成・補修、船舶・機器作業等の実践研修
※トライアル研修後、指導漁業者と研修生の双方が希望すれば漁業技能承継実践研修へ移行します。	

○地域の特徴

田辺地域は古くから漁業が盛んで、紀伊水道海域は黒潮紀南分流により水産資源の種類が多く、一本釣り、まき網、船曳網、刺網等を中心に漁業が営まれ、イサキ、カツオ、アジ類、サバ類、イワシ類、シラス等の魚類の他、イセエビ、ガザミ等甲殻類やヒロメ等の海藻が漁獲されています。

その他にも世界遺産に登録された、「闘鶏神社」等の古い歴史や文化、ナショナルトラスト運動の先駆けとして全国でも有名な「天神崎」の豊かな自然環境、また紀伊田辺駅前には約200店舗の飲食店が並ぶ「味光路」といった、人々の心と体を動かす、多彩で魅力的な地域資源を数多く有しています。

(生活情報)

○公共交通機関 : 最寄り駅 紀伊田辺駅 (JRきのくに線・特急くろしお)

●天王寺駅から約2時間

●新大阪駅から約2時間20分

○最寄りの学校等 : 牟婁保育所、もとまち保育所、田辺第三小学校、芳養小学校、明洋中学校等

○最寄りの病院 : 田辺中央病院、紀南病院、南和歌山医療センター

○漁村地域の取組

【藻場の再生・資源の保護】

和歌山南漁業協同組合では藻場の再生の取組として田辺地域の特産品の一つであるヒロメの藻場造成に取り組んでいます。またもう一つの特産品であるイサキの資源を保護するために、全長20cm未満の小型魚を再放流するという自主的な資源管理やイサキの稚魚の種苗放流に取り組んでいます。

【魚価向上のためのブランド化推進】

まき網漁業の漁獲物の魚価向上を図るため、特選出荷協議会を設立し、アジ類やサバ類を脂質・体長等で選別し「特選 紀和美」として出荷しており、まき網の漁獲物のブランド化に取り組んでいます。



○問い合わせ先

田辺地区漁業担い手地域協議会 (事務局: 和歌山南漁業協同組合田辺支所)

担当窓口: 和歌山南漁業協同組合田辺支所 (TEL0739-24-5120 FAX0739-26-0554)